

株式会社イメージ・マジック

2026年12月期 第2四半期決算説明資料

2026年8月14日

株式会社 イメージ・マジック 証券コード：7793

IMAGE MAGIC

Contents

目次

1 業績

2 株主還元

3 今後の成長戦略

4 Appendix

1

業績

IMAGEMAGIC

オンデマンドプリントサービスが堅調に推移し
第2四半期の売上・利益は半期ベース※での過去最高値を更新

売上高

5,148百万円

前年同期比 +17.6%

売上総利益

2,048百万円

前年同期比 +14.7%

営業利益

242百万円

前年同期比 +16.6%

経常利益

245百万円

前年同期比 +17.2%

当期純利益

164百万円

前年同期比 +41.4%

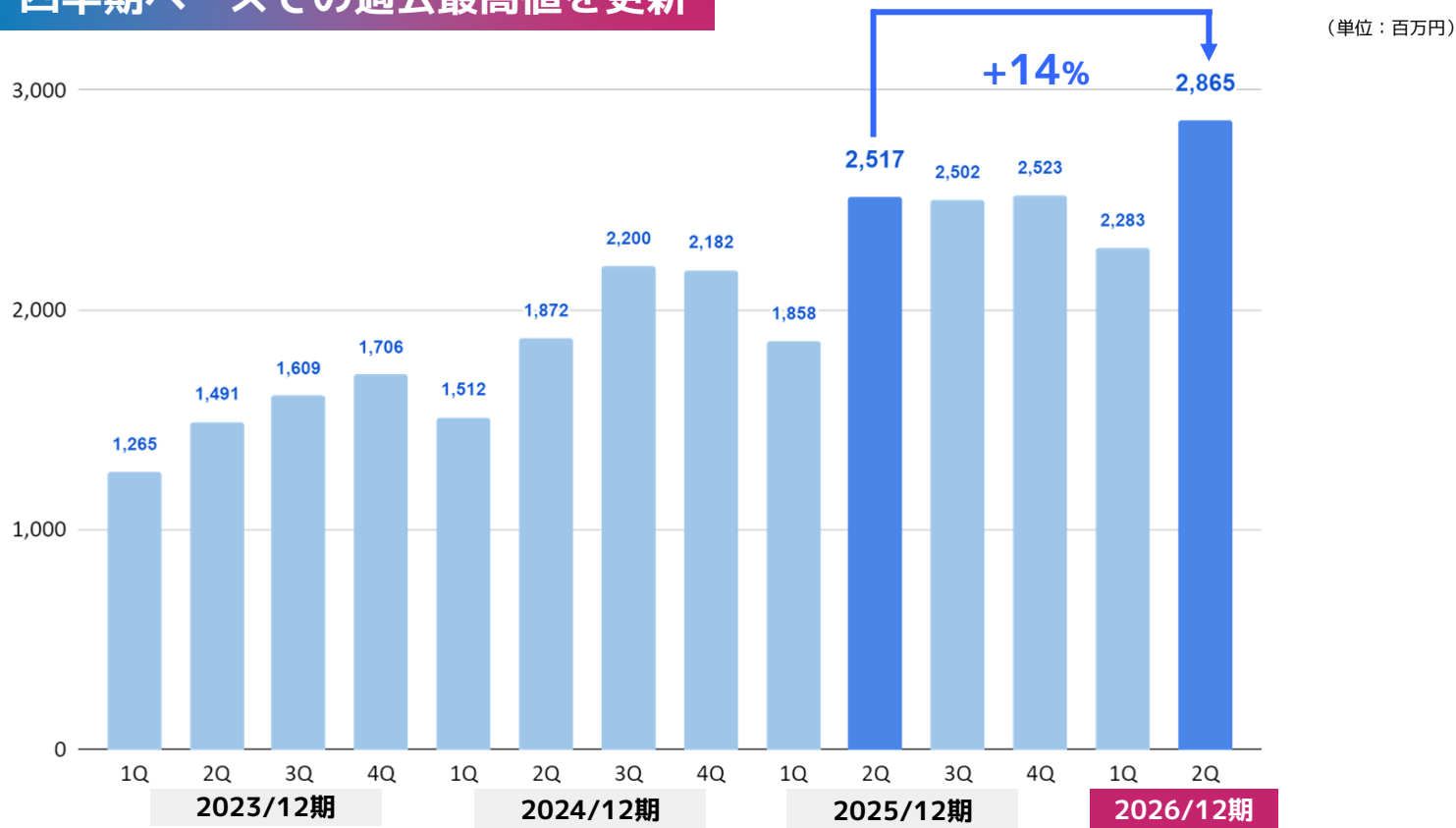
※過去の数値を12月期換算して比較

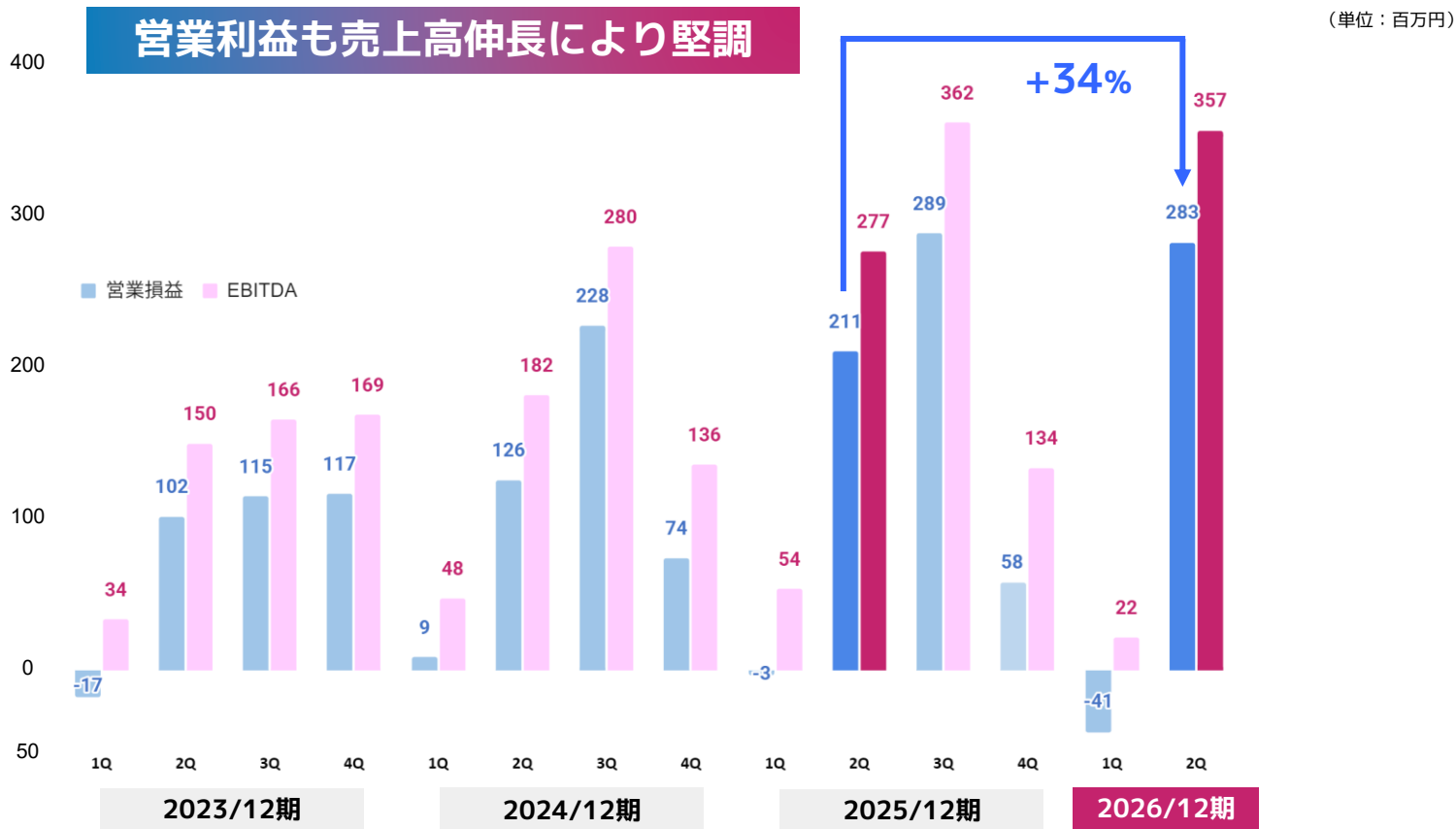
下期に利益が偏重する季節特性があり、通期計画に対して順調に進捗

	2025年12月期 2025年1月 ～2025年6月	2026年12月期 2026年1月 ～2026年6月	前年同期比		2026年12月期通期	
(単位：百万円)	前期2Q実績	当期2Q実績	増減額	増減率	通期予想	通期予想 進捗率
売上高	4,375	5,148	772	17.6%	10,700	48.1%
売上総利益	1,785	2,048	262	14.7%	—	—
対売上比 (%)	40.8%	39.8%	△1.0pt	—	—	—
営業利益	207	242	34	16.6%	650	37.3%
対売上比 (%)	4.7%	4.7%	△0.0pt	—	6.1%	—
経常利益	209	245	35	17.2%	650	37.7%
対売上比 (%)	4.8%	4.8%	△0.0pt	—	6.1%	—
当期純利益	116	164	48	41.4%	440	37.3%
対売上比 (%)	2.7%	3.2%	+0.5pt	—	4.1%	—
EBITDA※	332	379	47	14.2%	—	—
対売上比 (%)	7.6%	7.4%	△0.2pt	—	—	—

※：EBITDA＝経常利益+支払利息+減価償却費

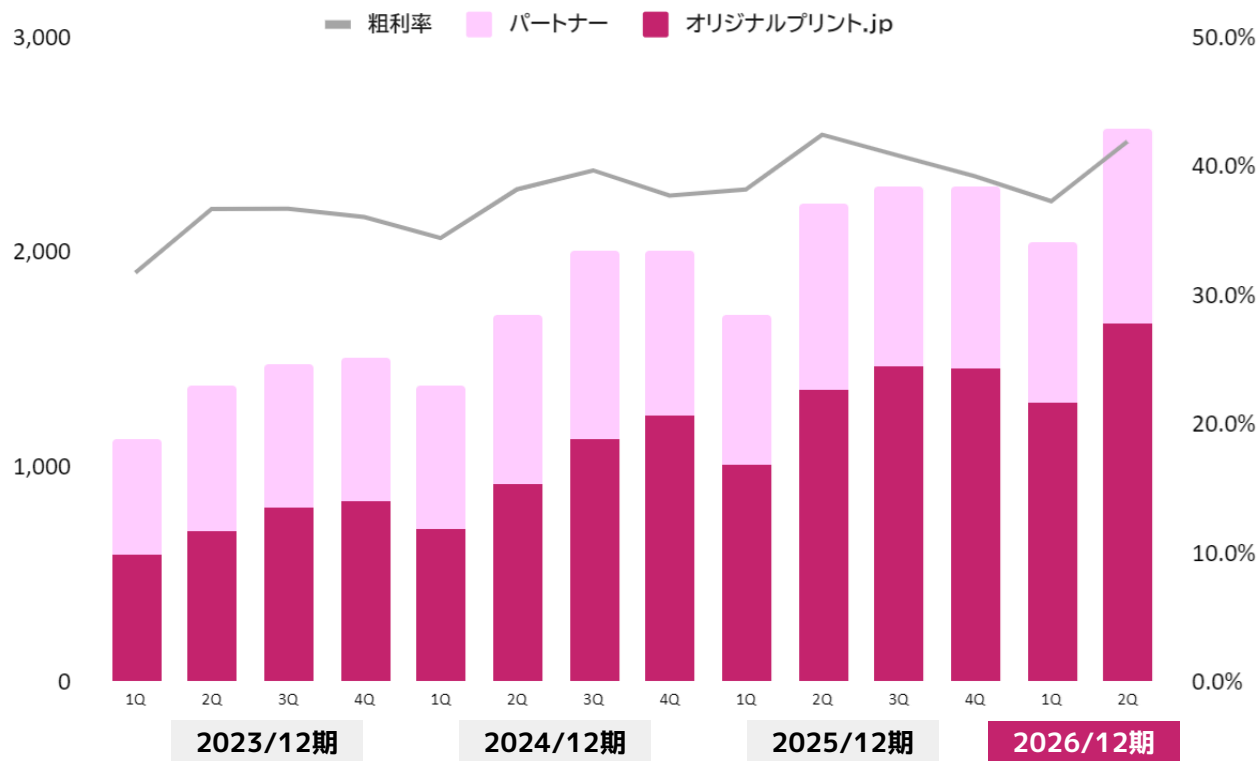
四半期ベースでの過去最高値を更新



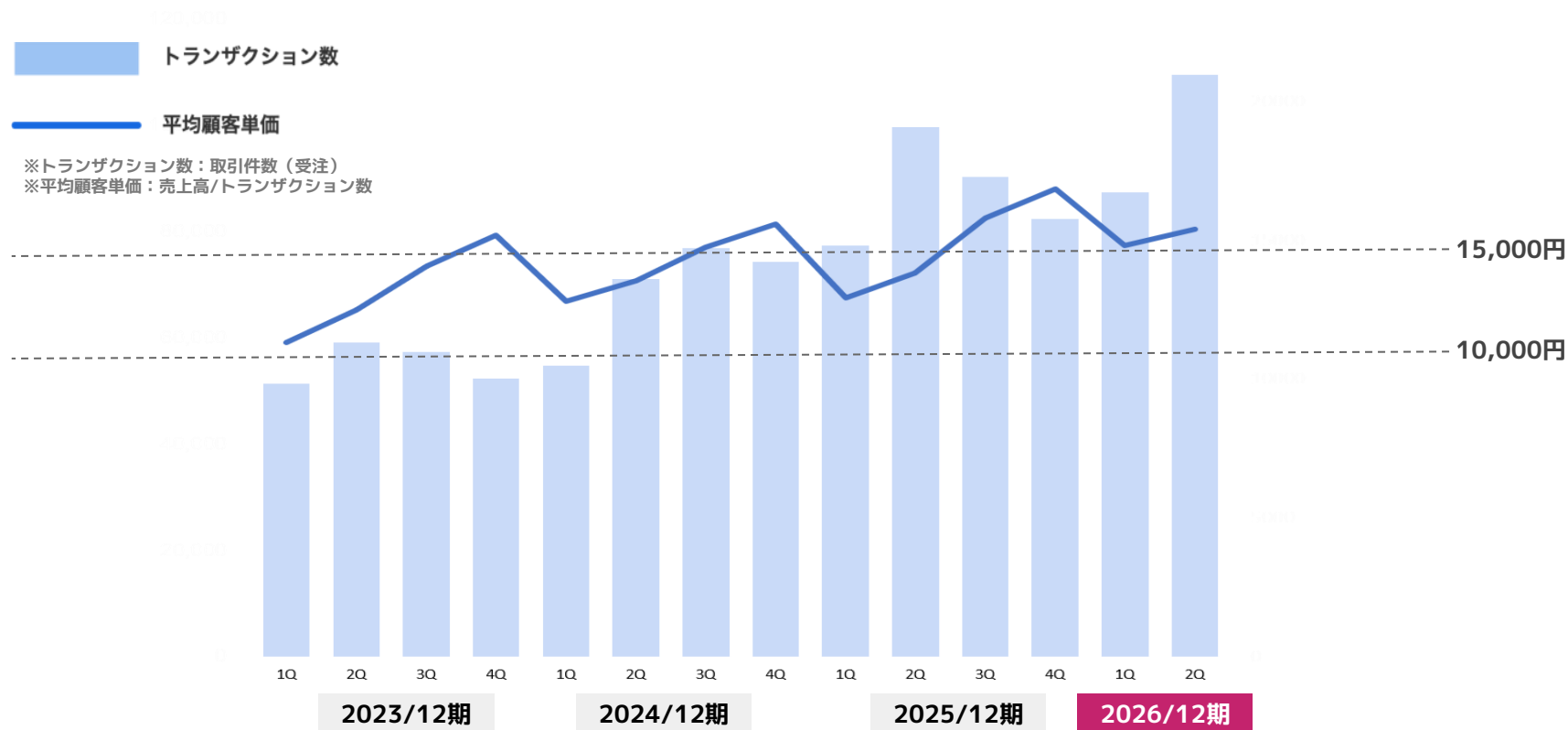


四半期ベースでの過去最高値を更新 オリジナルプリント.jp 及びアパレル向け受注が伸長

(単位：百万円)

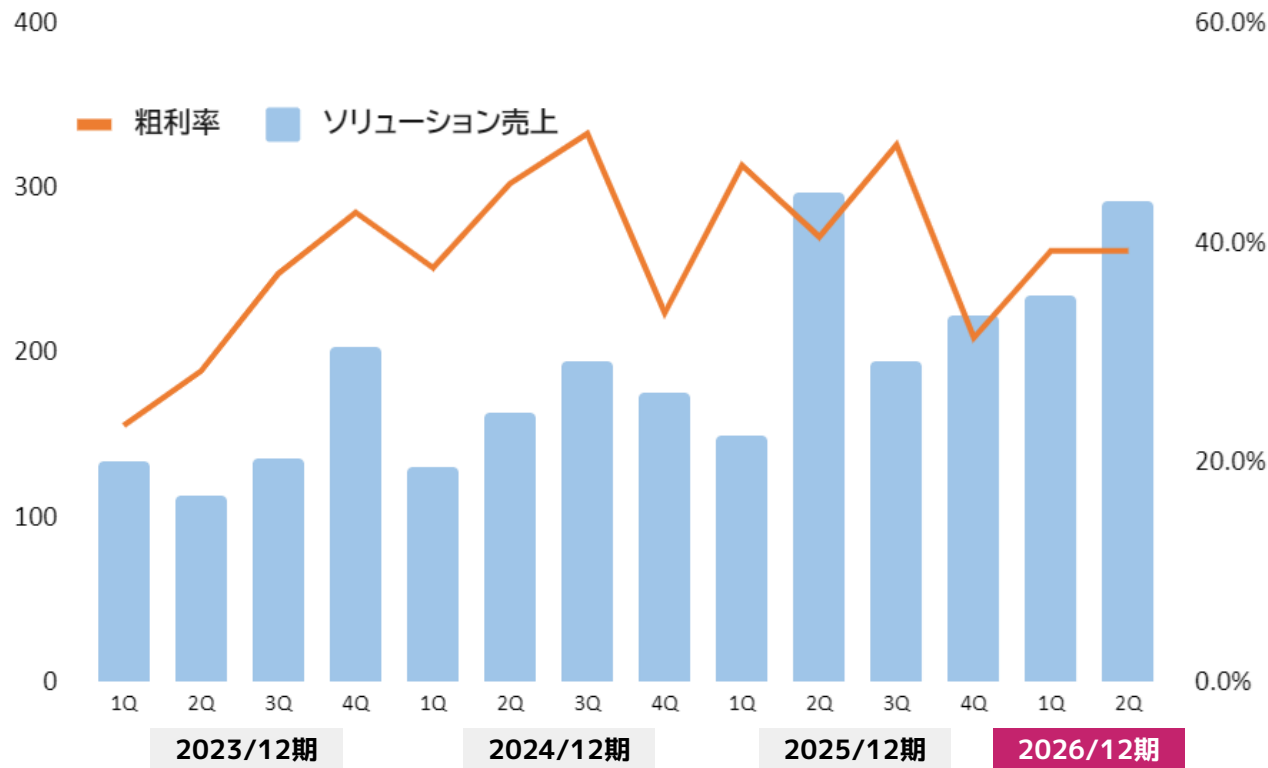


品揃えの拡大とマーケティングの積極化がトランザクション増に貢献

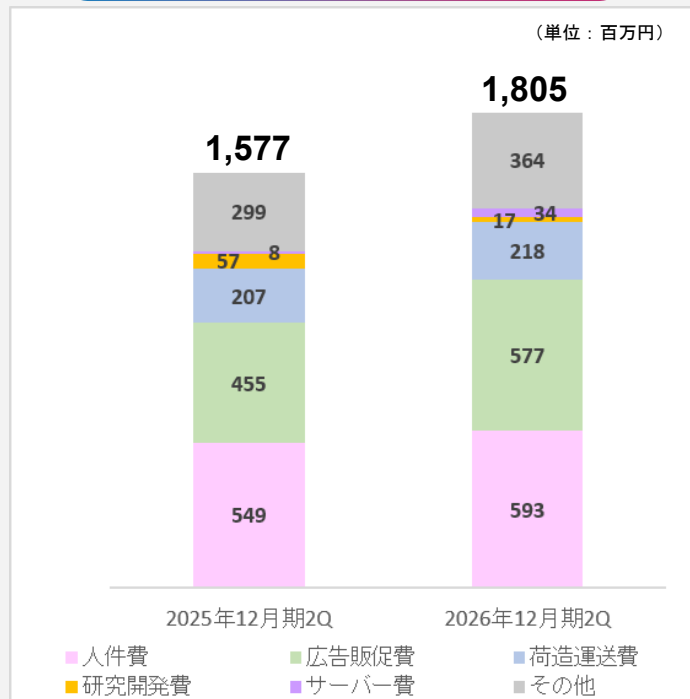


大型案件はなかったが消耗品の販売堅調

(単位：百万円)



販売費及び一般管理費の主な内訳



当期販売費及び一般管理費

1,805百万円 前年同期比：228百万円増 (+14.5%)

人件費

社員および派遣社員増員による増加

593百万円 前年同期比：44百万円増 (+8.1%)

広告販促費

売上に連動させた広告出稿積極化により増加

577百万円 前年同期比：121百万円増 (+26.8%)

荷造運送費

オンデマンドプリント売上増に伴う増加

218百万円 前年同期比：10百万円増 (+5.3%)

研究開発費

開発案件の一巡に伴う減少

17百万円 前年同期比：39百万円減 (△69.4%)

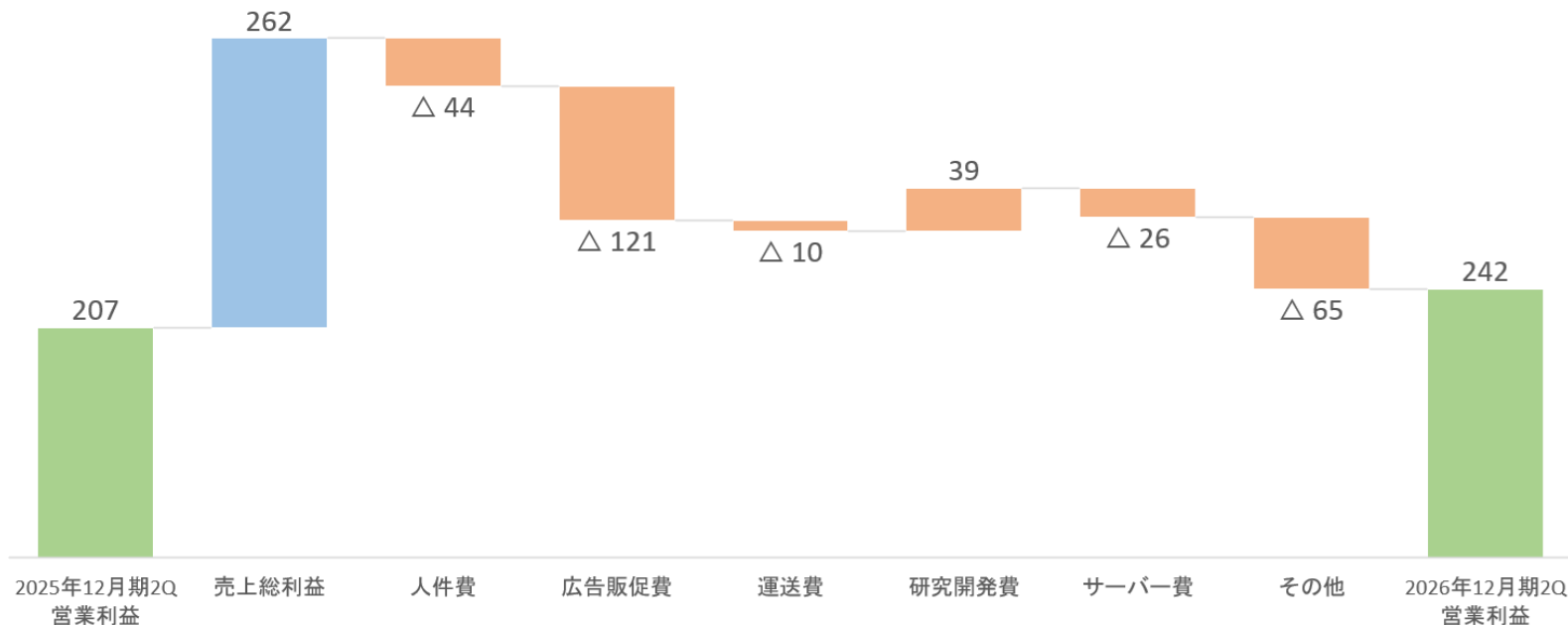
サーバー費

クラウド移行に伴う増加

34百万円 前年同期比：26百万円増 (+311.4%)

広告宣伝費/人件費等増加を売上総利益増で吸収し、半期ベース※過去最高の営業利益達成

(単位：百万円)



※過去の数値を12月期換算して比較

- 工場拡張や生産設備の更新に伴う固定資産が増加
- 自己株式取得や配当支払があったものの、2Q利益積上げにより純資産は前期末水準まで回復

	2025年12月末	2026年6月末	前期末比
(単位：百万円)	前期末	当2Q末	増減額
資産合計	3,508	3,499	△ 8
流動資産	2,255	2,033	△ 222
固定資産	1,252	1,466	214
負債合計	1,452	1,456	3
流動負債	1,291	1,318	26
固定負債	160	138	△ 22
純資産	2,055	2,043	△ 12
総資産	3,508	3,499	△ 8
有利子負債	162	121	△ 40
現預金残高	1,167	552	△ 615
ネットキャッシュ	1,005	430	△ 575
自己資本比率 (%)	58.6%	58.4%	△0.2pt

(単位：百万円)	2025年12月期	2026年12月期	前期比
	2Q累計	2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	33	△ 42	△ 76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 263	△ 353	△ 90
フリー・キャッシュ・フロー	△ 229	△ 396	△ 166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 131	△ 218	△ 87
現金及び現金同等物の増減額	△ 361	△ 615	△ 253
現金及び現金同等物の期首残高	940	1,167	226
現金及び現金同等物の期末残高	579	552	△ 27

【主な内訳】 ※数値は全て百万円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権△317、法人税△91、税引前中間純利益+239、減価償却費+133、仕入債務+114

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産取得△339

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式取得△96、配当支払△80、長期借入返済△39

研究開発関連費用：111百万円

(研究開発費：17百万円 + 設備投資額：11百万円 + 関連経費：83百万円)

開示可能主要研究カテゴリー



AMR (自動搬送ロボット)



自動名寄せ機



自動たたみ仕分け出荷機

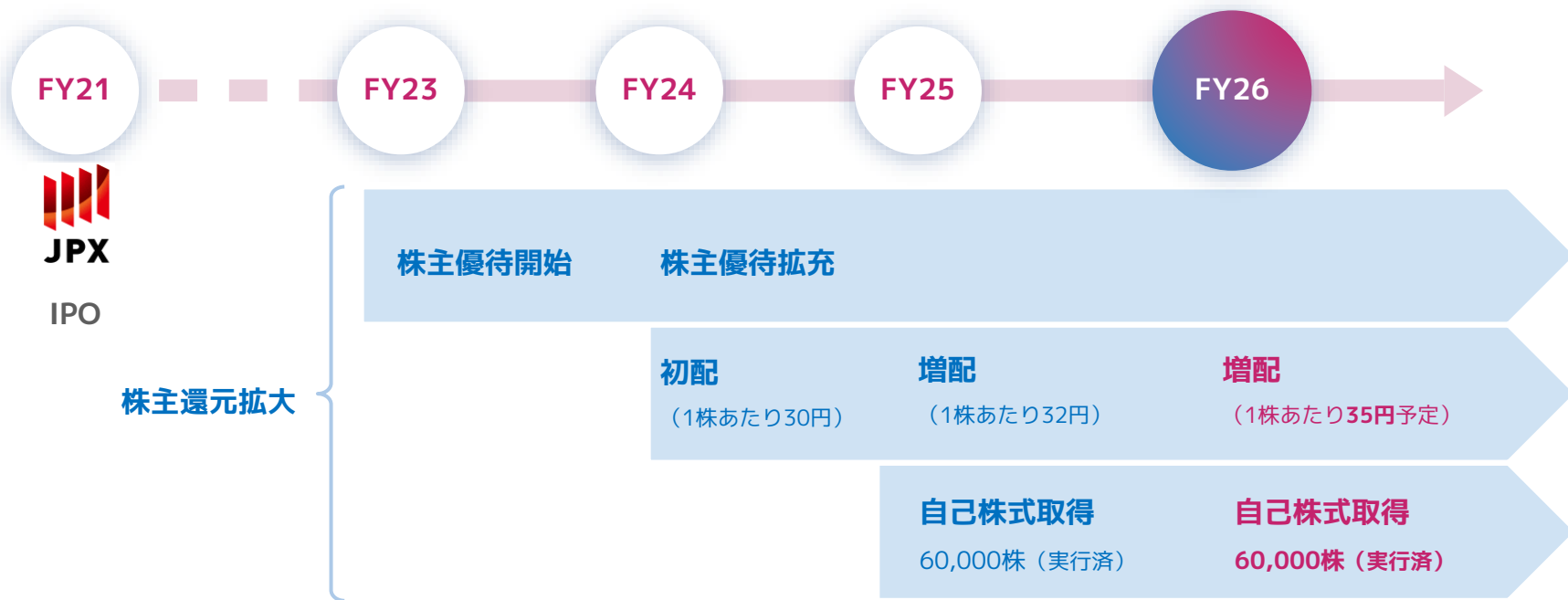
2

株主還元

IMAGE**MAGIC**

取得期間	FY25（実績）	FY26（予定） 2026/2/16-7/31	FY26（実績） ※2026/7月末現在	累計実績
株式総数	60,000株	60,000株 （上限）	60,000株 （100.0%）	120,000株
取得価額	87,272,600円	150,000,000円 （上限）	99,330,100円 （66.2%）	186,602,700円

本買付をもって一旦自己株式の取得を終了。今後も流動性や需給バランス、当社の機動的資本政策に鑑み、適宜実行を検討。



当社は成長フェーズにあり、中長期的な成長投資を優先しながら、
安定的継続的な株主還元を総合的に判断して実施していきます。

3

今後の成長戦略

IMAGEMAGIC



AMR導入

- AMR（自律走行搬送ロボット）は搭載したセンサーで周囲の状況を把握しながら自律移動
- 工場内の物の移動の自動化



既存プリンタへのカメラ設置

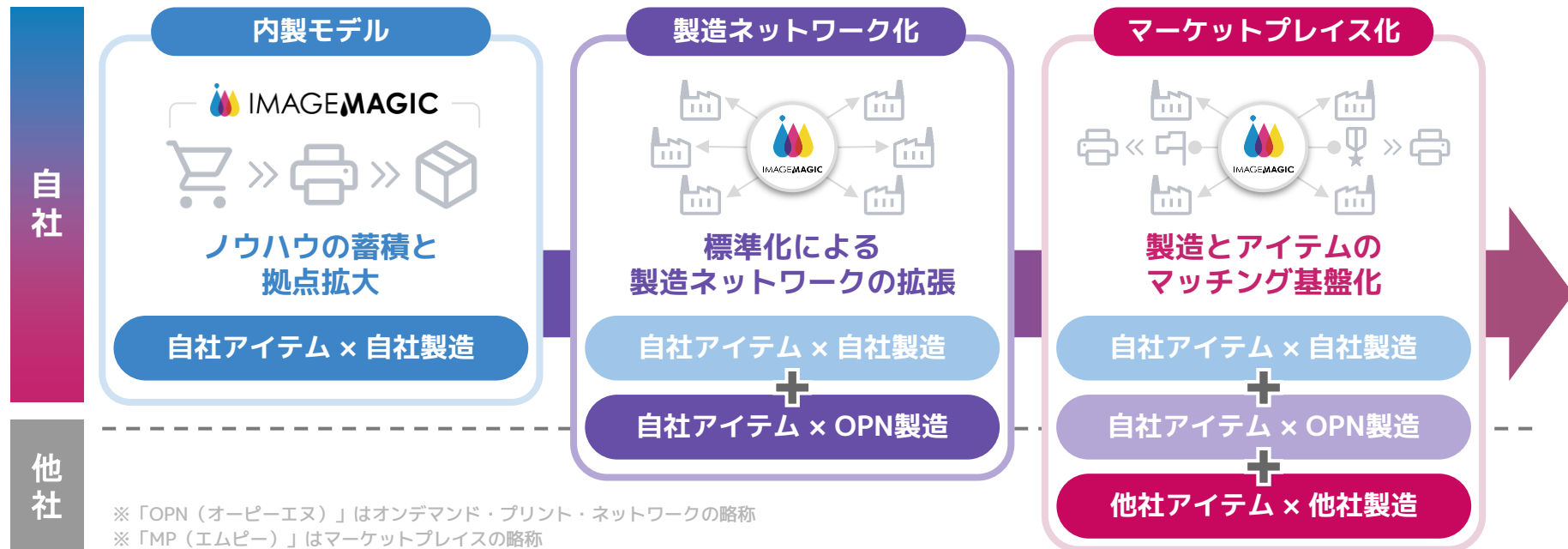
従来のプリンターは位置決め精度が低く、治具による調整が必要で非効率だった

< 既存プリンターへのカメラ搭載効果 >

- 印刷対象を正確に認識し位置決めが可能
- 治具レス化による大幅な生産性向上を実現

Supply（供給能力の拡張）

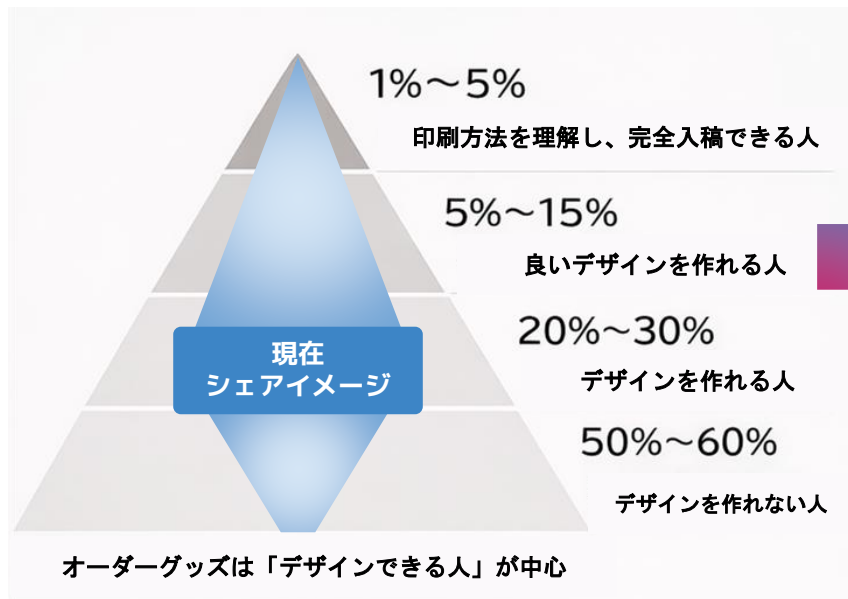
Platform（選択肢の集約）



今後もOPNとMPアイテムパートナーの両輪を拡張

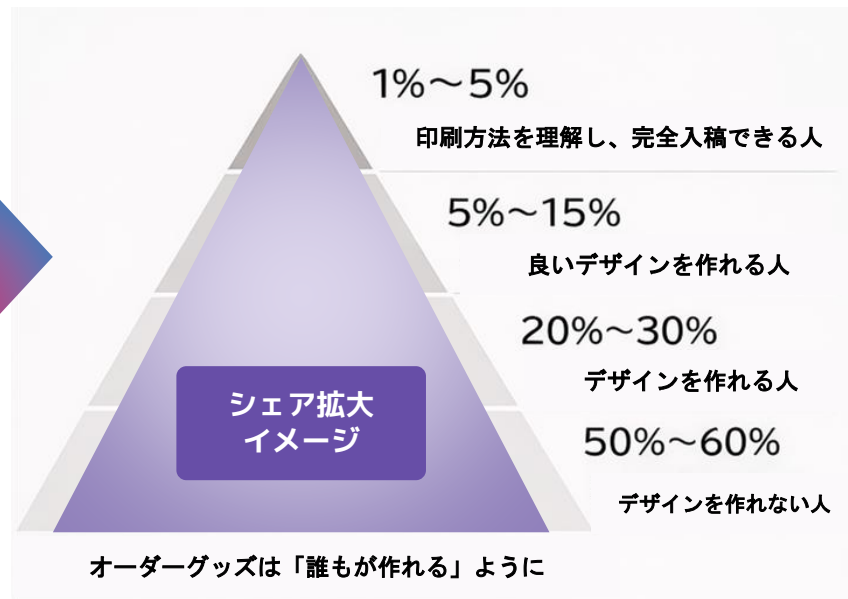
これまで

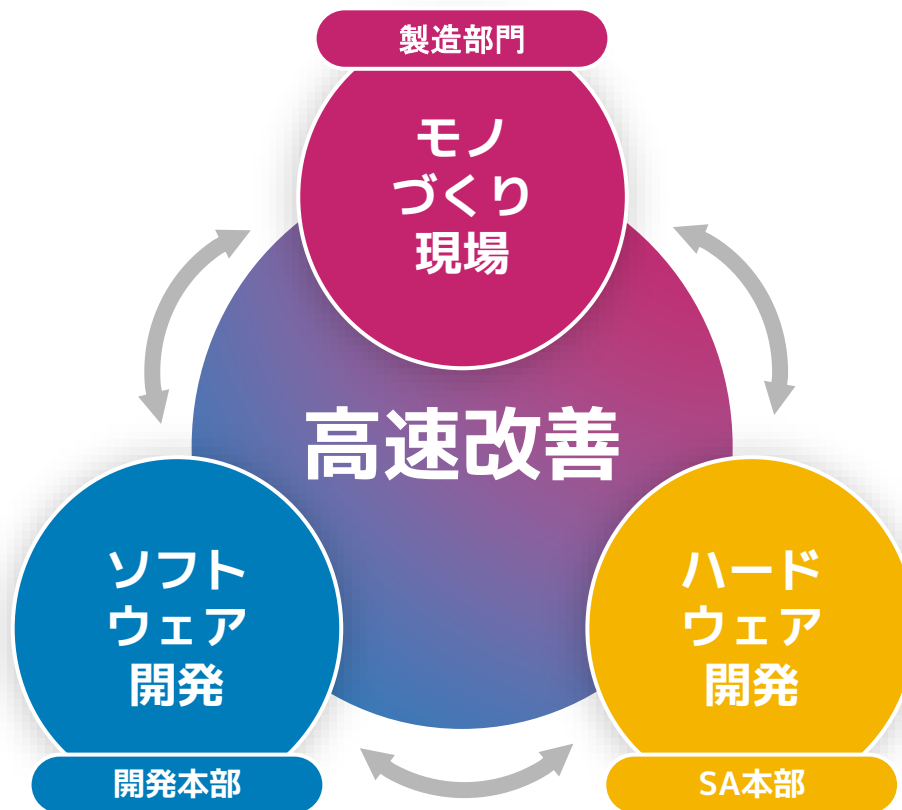
「デザインスキル」に依存した市場から



これから

AI化によって「誰もが作れる」時代へ





インクを使わない
アパレル製品へ
高速プリント



インク不要のため
消耗品コストゼロ



カテゴリ	印刷・加工方法			
アパレル プリント 	製品	シルクスクリーン印刷	量産の印刷方法では主流	事業投資
		DTG (ダイレクト印刷)	生地への直接印刷	
		DTF (フィルム印刷)	生地へ転写	次世代プリンター 自動化装置開発
		刺繍		事業投資
	生地	デジタル捺染 染料	市場の90%染料と圧倒的だが 環境負荷が高いため 徐々に減少傾向	
		デジタル捺染 顔料	今後拡大する市場	事業投資
雑貨 プリント 	UV印刷	ダイレクトUV印刷	現状の装置では自動化が困難で 生産性の低い装置が主流	事業投資
		UV-DTF (フィルム印刷)	グローバルでも拡大中も 日本では今年から拡大見込み	製品ラインナップ 拡充

4

Appendix

IMAGEMAGIC



IMAGEMAGIC

会社名	株式会社 イメージ・マジック
事業内容	オンデマンドプリントプラットフォームの提供
設立	1995年5月
代表者	代表取締役社長 山川 誠
資本金	347百万円（2026年6月末現在）
従業員数	542名（パート・アルバイト含む） ※2026年6月末現在
所在地	本社 東京都文京区小石川1-3-11 ライジングプラザ後楽園

前年比 +31名

Company

会社概要

工場

川越工場

埼玉県川越市今福1443-1 3F

朝霞工場

埼玉県朝霞市泉水2-10-27

志村工場

東京都板橋区志村1-2-11

国内最大級ファクトリー

GPC 岐阜工場

岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17

オフィス

小石川本社

東京都文京区小石川1-3-11
ライジングプラザ後楽園 5/6F

西日本支社

大阪府大阪市中央区北久宝寺町
1-7-9

ショールーム

五反田ショールーム

東京都品川区西五反田7-22-17
TOCビル 10階15号

大阪ショールーム

大阪府大阪市中央区北久宝寺町
1-7-9



- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。